

障害者就労施設の工賃向上に資する生産設備の導入モデル事業取組事例（石川県）

実施事業所

奥能登WORKSスタジオ

導入した設備

蒸留機、冷蔵庫、多目的電気乾燥機 等

事業の応募のきっかけ(事業所が抱える課題)

ゲストハウス『ココハオダヤ』オープンと地域の交流サロンとして運営してきたカフェ『ココハサトマチ』を連動させ、復興支援事業者、工事関係者、二次避難から戻った地元住民への奥能登の特産品を活用した食事提供、お土産品の製造販売を拡大していくことが導入のきっかけとなった。7月より被災地の視察ツアーを企画し集客を行っており、奥能登の現状を発信しながら販路拡大に繋げ利用者の工賃向上を目指す。また、設備の増設によって稼働を向上させていくために利用者、職員の増員が急務である。



事業内容

自社で運営するカフェ『ココハサトマチ』、ゲストハウス『ココハオダヤ』と連動して、南志見市場、民泊事業を開始予定。震災、豪雨以降、被災地の現状を知ってもらうための情報を発信し、ツアーを企画し新たな観光名所を創出することで、地元食材を使った食事提供、お土産品製造の事業を更に拡大し利用者の工賃向上と地域の雇用を生み出す。



生産設備導入後の効果

生産設備を導入することで利用者の作業量、作業効率がアップ。復興支援事業者、工事関係者、二次避難より戻ってきた地域住民からの、お惣菜、お弁当の需要が高まることで食品加工の売上増加につながり、利用者の工賃向上を実現する。また、今後ゲストハウスの宿泊客を見込んだ食事提供、カフェで製造するお惣菜、お弁当、メニュー提供、お土産品としての加工食品、フォレストで製造する能登ヒバ商品を奥能登の特産品として発信することで全ての事業を連動させ奥能登活性化につなげていく。さらには南志見地区の震災によって退職、休職を余儀なくされている地域住民に対しても、弊社の取り組みによって雇用の創出が可能になると考える。